はじめよう！おでかけ防災

全国各地で災害が頻発している昨今、自宅で防災備蓄をするなど意識が高まった人も多いのではないでしょうか。
ただ、日常生活では、おでかけ中の被災に備えて今からできる対策や知識について、能登半島地震で被災地の支援に当たった経験を持つ、くらし安全課植木優太主事に聞きました。

問 くらし安全課危機管理・消防防災担当（☎594-5523）

おでかけ先ごとのリスクを想像・把握する

「おでかけ中は、**その場所のリスクを見つけられるといい**ですね。川の近くでは氾らん、地下道では冠水が考えられたり、斜面やブロック塀は崩壊したりする等、**水害や地震の際にどうなるか想像することが大切**です。災害時、いつも通っている道が使えなくなるかもしれないことも改めて意識してほしいです」

市では市内のハザードマップを作成し、市と災害時に関する協定を締結しているＬＩＮＥヤフー株式会社は、スマホアプリ「Yahoo! 防災速報」を提供しています。洪水等のハザードマップを市内外一体的に表示できるので、各自の生活圏の災害リスクを確認しましょう。



くらし安全課　植木主事

令和6年能登半島地震で被災地へ8日間派遣され、夜間の避難所対応等の業務に従事した経験をもつ。



▲ 災害情報画面イメージ



▲ 洪水等のハザードマップ画面

「Yahoo! 防災速報」アプリダウンロード ▶

災害時の連絡手段を決めておき、情報を得る手段を知っておく

「職場や学校等の日ごろ通う場所で被災した時、どう動くかを前もって家族間で想像して連絡手段を決めておく」と慌てずに済みます」

災害時は被災地の電話回線が混み合い電話がつながりにくくなります。そのような状況でも利用できる「災害伝言ダイヤル（171）」をはじめ、「ＬＩＮＥ安否確認」等のアプリ機能も活用できます。

「情報収集の手段も知っておいてください。『Yahoo! 防災速報』は、緊急速報や避難情報を現在地に合わせて受信できるので、慣れない地域に居るときに役立ちます。さらに、アプリユーザーが投稿したリアルタイムの被災状況を地図上で見ることができ、災害がどこまで迫っているか一目で分かります」

すぐに帰るよりも、より安全な行動の判断を

おでかけ中に被災すると、どこで過ごすのか判断を迫られます。

「駅や商業施設では施設の指示に従ってください。自身で無理に移動・帰宅せず安全な場所に留まるのが基本です。次ページで紹介する防災ポーチを持ち歩く等、備えることで物理的にも精神的にも状況が変わり、より安全な判断をしやすくなります」



▲ LINE 安否確認の画面イメージ
簡単に自分の状況を報告できる。

防災アプリや防災ポーチでいつものおでかけも〝ちょこっと〟防災

持って安心！防災ポーチ

植木主事にアドバイスをもらい、防災ポーチを揃えてみました！



防災ポーチとは、災害時に数時間から一晩越すために必要最低限のものを毎日使うカバンに入れて持ち歩くポーチのことです。災害時も平時も役立つよう、一人ひとりの生活に合わせた中身にするのがおすすめです。





子育て世帯の自分に合わせて選んだ防災ポーチの中身！



1 ポーチ。透明だと中身がわかりやすい　2 携帯トイレは 100 円ショップで購入　3 メモ帳とネームペン　4 あめ　5 災害備蓄用ライト。電池不要で 72 時間光る　6 ごみ・レジ袋。簡易的な雨具や防寒着にも　7 ばんそうこう　8 マスク　9 現金　10 圧縮梱包されている防災用タオル。水を含むと広がる　11 ウエットティッシュ

防災ポーチって初めて聞いたけど、どんな物を入れればいい？

携帯トイレや圧縮梱包されているタオル、災害用備蓄用ライトは 100 円ショップやホームセンターで揃えられるよ。コンタクトレンズや生理用品等、普段使っている物は災害時も使うし、自分には何が必要か改めて考えることも大切かな！

子どもとおでかけすることが多いから、あめがあると災害時に子どもの緊張を和らげられるかな。自分は寒がりだから、これからの季節はカイロもあってもいいのかも。



季節品があると、定期的に入れ替えや点検するきっかけにもなるよ。スマホで情報収集や連絡ができるようにモバイルバッテリーもあると安心だね。持ち歩けるように重さには注意してね。

OK！なるべく軽く、コンパクトになるように選んでみる！



2 携帯トイレ
平時の渋滞等でも子どもの「トイレ行きたい」に対応！



4 あめやラムネ等
災害時のエネルギー補給や緊張を和らげるためにも。



9 現金（貨幣・硬貨）
災害時は電子決済ができなくなることも。

詳細は公式 note で解説！



防災 TOPIC　地域活動で自分の防災力も UP ！

自治会・自主防災組織が図上訓練を実施しました



7月～10月にかけて自治会や自主防災組織が埼玉県危機管理課と埼玉県防災士会の協力を得て、防災講座や地域の危険個所を再確認する図上訓練、避難所運営を疑似体験するゲームを行いました。災害時にいつもの道路が通行できるか等、平時からリスクを発見して対応策を確認し、災害を自分事として考えるきっかけとなりました。

イベントで防災を体験しよう！

消防団特別点検＆防災訓練

時 11月22日（日）　場 総合公園　※8：15 にサイレンを吹鳴します

消防特別点検　8：20～10：30
消防団員が災害に迅速に対応できるよう、培ってきた操法、部隊行動等を点検します。



防災訓練　9：30～12：30
地震体験車、防災グッズの展示、放水体験、救急救命・AED 訓練、炊き出し訓練、イツモ防災ワークショップ 等



スタンプラリーでカレー GET！



防災フェスティバル

時 12月6日（日）10：00～14：00
場 ミドリトテラス（栄市民活動交流センター）

▶【関連記事 15 ページ】

